

## 第5章 栗東市（町）の対応の経過

## 1 硫化水素ガス発生後の対応等

年月日	概要
平成11年10月11日	住民から悪臭ガス発生苦情受付。栗東町、消防署、警察署が出動し現地確認を行う。ガスの特定はできなかったが、排水口を閉鎖させる。
平成11年10月12日	県、消防署と共に現地でガスの再調査を行い、硫化水素濃度50ppm以上の検出を確認する。
平成11年10月14日	町役場に来庁された住民団体「産業廃棄物を考える会」（以下「考える会」という。）70人からの措置要請を受け、県に対し早期措置を要請する。
平成11年10月27日	硫化水素発生排水管の調査を県及び事業者が町、考える会立ち会いのもとに実施した結果、排水管の破損があり地中より硫化水素の発生が判明。この日から毎日検知管による硫化水素を測定する。
平成11年11月4日	悪臭防止法に基づき、㈱RDエンジニアリングに対し硫化水素の発生原因の究明及びその対策を実施するよう通告する。
平成11年11月5日	県知事に対し、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、㈱RDエンジニアリングの硫化水素発生対策及び産業廃棄物の適正処理を早期に実施させるよう文書にて要請する。
平成11年12月2日	地元6自治会と考える会から結成された産廃処理問題合同対策委員会（以下「合対」という。）が町長への要請のため来庁。同時に栗東町議会議長にも要請あり。 要請内容 住民が操業の安全性に対して納得して同意するまで、滋賀県が㈱RDエンジニアリングに交付している産業廃棄物に関する全ての免許を停止することを、関係機関に働きかけること。
平成11年12月8日	考える会約60人が住民署名を添えた要請書をもって、栗東町長及び栗東町議会議長に要請のため来庁。 要請内容 (1) 硫化水素の発生原因を滋賀県と共に調査し明らかにすること。 (2) 埋立地全面にわたる地質、水、ガスの調査を行い、すべての実態を明らかにして対策をたてること。 (3) ガス化溶解炉を安全性が確定されるまで運転させないこと。
平成11年12月27日	考える会が町内をデモ行進され、その後、同会から町に対して「RDエンジニアリングの硫化水素の早期措置と産業廃棄物の違法処理について調査し、それまで全ての操業を停止させよ。」との要求あり。
平成12年1月20日	12月に受理した要請に対する回答・協議のため、考える会との住民交渉を実施。 回答内容

	<p>(1) 各種調査について県と共に分担して調査を実施している。</p> <p>(2) ガス化溶融炉の安全性については県議会で県の方針が明らかにされている。使用前検査等安全性を確実に実施されるよう強く県に要望する。</p>
平成 12 年 3 月 1 日	<p>栗東町区長連絡協議会から硫化水素検出に対する対応について要望を受ける。</p> <p>要望内容</p> <p>(1) 住民の声を受け止め、安心して暮らせる環境を取り戻せるよう、積極的な対応を願う。</p> <p>(2) 住民の不安解消のため、情報の提供と希望地域における説明会の開催を願う。</p>
平成 12 年 3 月 30 日	<p>合対から町主催の住民に対する説明会の開催及びガス警報器の設置について要求を受ける。</p>
平成 12 年 4 月 13 日	<p>町から㈱RDエンジニアリングに対し、硫化水素の警報機器設置による常時監視について要請する。</p>
平成 12 年 4 ・ 5 月	<p>県、町、合対により住民説明会に向けての事前調整協議を実施。</p>
平成 12 年 5 月 19 日	<p>県、町合同による RD エンジニアリング 廃棄物処分場に係る住民説明会を実施。(住民参加者 約 350 人)</p>

## 2 市(町)の調査

栗東市(町)はRD問題が発生して以降、周辺の生活環境に与える影響を調査するために、㈱RDエンジニアリング産業廃棄物最終処分場環境調査委員会の提言を受けながら、河川の水質・底質調査、地下水水質調査、経堂池の水質・底質・生物調査、水稻生育調査、ガス調査等を行った。

なお、㈱RDエンジニアリング産業廃棄物最終処分場環境調査委員会については次項に記載する。

### 【地下水調査】

### 【水稻生育及び玄米含有物質調査】

調査目的：㈱RDエンジニアリング最終処分場の排水が流入する経堂池の用水による水稻栽培により、水稻の生育と玄米中の有害物質の有無による汚染状況を調査することを目的とした。

実施年月：平成 12 年 6 月、平成 12 年 10 月

調査概要：経堂池からの用水による水稻の生育調査を実施し、これに対する比較として三ツ池からの用水による水稻の生育調査を実施した。実施条件として、それぞれの水田における面積、苗、肥料、耕作者は同一とし、用水のみ異なることを設定した。また、玄米中の有害物質の含有調査を、前述の両水田における試料と、比較田として十里地先水田における試料について実施した。

調査結果：経堂池からの用水による圃場及び比較対象圃場ともに水稻生育、玄米含有物質のいずれも異常は認められなかった。

#### 【経堂池水生底生生物調査生物調査】

調査目的：㈱RDエンジニアリング最終処分場及びその周辺地域からの表流水及び排水などが流入する経堂池の底質中に生存する小動物を採取・同定し、種類・各個体数等を測定し、その結果から経堂池の水質、自然状況などの推定を実施。

実施年月：1回目 平成12年11月～平成13年3月

2回目 平成13年9月～平成14年3月

調査概要：経堂池の底質中に生存する小動物を採取して種類・個体数等を測定し、その結果から経堂池の水質、自然状態の調査を実施した。

調査結果：池の底質に含まれる人工物の量が、池が外部から受ける影響の度合いの指標になり得る可能性が示された。

経堂池上流の2地点では、中・下流域3地点とは底生生物環境が異なる状態にあると推定された。これらの地点の池底質、あるいは水中の生物相に影響を与える何らかの要因が作用している可能性が高いことが確認できた。

この影響は、池の水位が高い状態ほど顕著化する可能性が高いと推定された。

#### 【周辺住民生活影響調査】

調査目的：㈱RDエンジニアリング最終処分場を原因とした、周辺住民の生活への影響を把握することを目的とする。

実施年月：平成13年8月

調査概要：北尾団地・中浮気団地・北の山の世帯と事業所を対象とし、出会うことができた方から質問紙法により調査を実施。うち99世帯・事業所から回答を得る。

調査結果：物理的被害…ばい煙・臭気による被害は平成3年頃から発生しており、特に平成7年頃に黒い粘着質の灰が降るといふ大きな被害が発生していたことがわかった。

どの地区も共通して半数以上の方が「臭った」と回答している。

騒音については、平成7年からひどく、深夜に重機が稼動する音に悩まされたという声が多かった。また平成7年頃から、自宅や近隣で動植物や水の異常が見られたと指摘する声もあった。

社会的被害…自宅に客を招けない。住所を言いにくい。他人からいろいろ中傷されるなどの声が聞かれた。

問題解決への対応をめぐる住民間の意見対立、家族内部での意見対立など、この問題によって人間関係上の支障があったとする回答がどの地区からも聞かれた。

精神的被害…臭いに敏感になる。窓を開け放しにできない。神経がぴりぴりしているなど精神的苦痛を指摘する声が焼却施設の運転停止後にもかかわらず多く聞かれた。

身体的異常…直近の地区では、処分場が原因と思われる身体的な異常を訴える率がかなり高いことがわかった。

対策要望 …有害埋め立て物の撤去、地下水調査や排水調査の継続を求める声が多くあつ

た。滋賀県が提案した「埋め立てられた物はそのまま硫化水素の発生を押し止めるために覆土する」案は、周辺住民からはほとんど支持が得られなかった。

その他 …これらの他に自由回答の意見として、(株)RDエンジニアリングに対する批判、市(町)や県の責任を指摘する声、生活や健康、将来へ不安を訴える声が多く聞かれた。

#### 【周辺地質調査】

調査目的：地下水の流動する帯水層の特徴と形状を明らかにし、地下における地下水の挙動と周辺の自然環境への影響を解析する基盤として不可欠な地質状況を明らかにすることを目的とする。

実施年月：平成14年2月～平成15年2月

調査概要：滋賀県工業技術センター敷地内(上砥山)に、深度135mまでの機械によるボーリング作業を行い、土質標本を採取。採取した試料を基に、当該地での地質状況を調査する。

調査結果：調査により地質図を作成。処分場の地下には、5層の地下水が流れる地層(帯水層)があり、廃棄物の下底が達している帯水層が判明した。

#### 【周辺ガス調査】

調査目的：大気汚染防止法における有害大気汚染物質に関して、硫化水素及び環境基準が設定されている4種のガスについて、RD最終処分場周辺の現状を調査することを目的とする。

実施年月：平成14年7月、8月

調査概要：発生源(処理前、処理後)、処分場敷地境界(風上、風下)、及び周辺地域である北尾団地、北の山、中浮気団地における大気ガスを吸引し、硫化水素、テトラクロロエチレン、トリクロロエチレン、ベンゼンの4種について大気中濃度を測定する。

調査結果：周辺地域及びRD処分場内のガス濃度は国の環境基準に比べて特に高濃度ではなかったが、処分場地下には、大気環境基準に比べ高濃度のベンゼン、塩化水素が存在していることが判明した。

#### 【経堂池・三ツ池水質調査】

調査目的：RD最終処分場の排水が流入する経堂池の水質について、公害の未然防止のため、また三ツ池については農業用水の適否を調べるため水質調査を実施。

実施年月：平成15年2月

調査概要：以下の水質検査を実施。

経堂池…ダイオキシン類、環境基準項目、生活環境項目

三ツ池…生活環境項目

調査結果：経堂池については化学的酸素要求量(COD)、全窒素が、三ツ池については全窒素が農業用水基準を超過した。

### 3 (株)RDエンジニアリング産業廃棄物最終処分場環境調査委員会（平成12年（2000年）8月～平成21年（2009年）1月）

#### (1) 環境調査委員会の概要

栗東市（町）は、RD最終処分場内の汚染物調査と除去を求める住民の要請及び住民の生活と安全を守る観点から、RD最終処分場周辺の調査を実施し、その結果を検討し必要な措置に関する調査検討機関として、学識経験者、住民の代表、栗東町が必要と認める者で構成した「(株)RDエンジニアリング産業廃棄物最終処分場環境調査委員会（以下「環境調査委員会」という。）」を設置した。

#### 【環境調査委員会の概要】

目的	市（町）が実施するRD最終処分場周辺の調査内容を提案し、調査結果を基に必要な措置について調査検討する。
設置時期	平成12年（2000年）8月から平成21年（2009年）1月まで（49回開催）
組織	委員15名 （学識経験を有する者4名、住民を代表する者5名、町長が必要と認める者6名）

#### 【委員名簿】（設置当時）

役職	氏名	職名	専門部会員
委員長	早川洋行	産廃処理問題合同対策委員会	
副委員長	小林圭介	滋賀文化短期大学教授	○
委員	山田 淳	立命館大学理工学部教授	○座長
	横山卓雄	同志社大学理工学研究所教授	○座長職務代理者
	関口鉄夫	財団法人日本農村医学研究所客員研究員	○
	河合利夫	住民代表	
	社納 潔	住民代表	
	仁科喜三郎	住民代表	
	松井尚之	住民代表	
	宮原俊夫	住民代表	
	太田敏夫	産廃処理問題合同対策委員会	
	中井美雄	産廃処理問題合同対策委員会	
	和田 守	産廃処理問題合同対策委員会	
	山口弘幸	産廃処理問題合同対策委員会	
高谷 清	産廃処理問題合同対策委員会		

- ・専門部会4名（学識経験を有する者及び必要により委員長が認めた専門知識を有する者）  
学術的、専門的な調査を行う

#### (2) 環境調査委員会の活動

4 栗東市議会 産業廃棄物最終処分場対策特別委員会

5 滋賀県知事への要請・要望